

サマーセミナー2025

「集う、語らう、問う力」

<https://www.tc-iaip.org/ss/2025/>

主 催：（公社）精密工学会 画像応用技術専門委員会
共 催：（一社）映像情報メディア学会 メディア工学研究会

企画委員会：金子 直史（東京電機大学：企画委員長）、佐藤 惇哉（岐阜大学：幹事）、
パトハック サーサク（芝浦工業大学：幹事）、池 勇勳（北陸先端科学技術大学院大学：幹事）、
平野 晃昭（関東学院大学：幹事）、森野 比佐夫（東京エレクトロンデバイス）、
興水 大和（中京大/YVCソリューション：アドバイザー）、秋月 秀一（中京大学：アドバイザー）ほか

趣 旨：

サマーセミナーは、大学・学生・研究機関・企業等の交流と、画像処理技術に関する勉強・討論の場の提供を目的に毎年開催場所を変えながら実施してきました。34回目の開催、かつ、公益社団法人 精密工学会 画像応用技術専門委員会と一般社団法人 映像情報メディア学会 メディア工学研究会との共催が22年目となる今回は、対面方式で実施します。

生成AIをはじめとした新たな技術の進展により、研究環境は大きな変革期を迎えています。本サマーセミナーでは、若手が集い、互いの研究に対して率直に議論し合うことで、AIを使うだけでは得られない「現場感覚」を再認識し、研究者としての「問いを立てる力」や「語り・伝える力」を鍛えることを目指します。

そのために、研究を始めたばかりの学生や企業の研究者が「発表したい！」「参加したい！」と思うような、対面議論の場を提供する仕組みを準備します。具体的には、前回・前々回で好評であったディスカッション重視の形式を継承し、次のように実施します。

- ・ **全体の前でのショートオーラル発表**

研究の概要を全体で共有することで、スムーズに以降の議論へ移行できるようにします。

- ・ **少数グループでのポスターディスカッション**

少人数で研究発表を行うことで、自然と議論が行われる空気感を醸成します。

さらに、各グループに司会役として先輩研究者に参加してもらい、議論の活性化を促進します。

- ・ **議論に参加すること自体を評価する仕組みを導入**

発表者にとって今後の研究活動の参考になるような有益なコメント・質問がなされた場合に、これを評価する（選賞に考慮する）仕組みを導入します。

皆様の積極的な御参加・御発表をお願い申し上げます。

日 時：2025年8月21日（木）、22日（金）

会 場：金沢歌劇座 大集会室（〒920-0993 金沢市下本多町6番丁27番地）

プログラム内容：若葉研究者の集い：研究発表、ディスカッション

特別講演：「カテゴリ単位での物体の3次元位置姿勢推定」秋月 秀一 氏（中京大学）

申込方法：WEBからお申し込みください。URL: <https://www.tc-iaip.org/ss/2025/>

受理メールが届かない場合は下記までお問い合わせ下さい。

連絡先：E-mail: summer2025@tc-iaip.org

公益社団法人 精密工学会 画像応用技術専門委員会 事務局「サマーセミナー2025」係